



ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2011 スペシャルプログラム 犬童一心ほか審査員が選んだ世界のオススメショートフィルム！ 8月31日まで横浜みなとみらいで上映

横浜・みなとみらいのショートフィルム専門映画館、ブリリア ショートショート シアターでは、6月に開催されたショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2011 (SSFF & ASIA 2011) の受賞作品、審査員オススメ作品を“映画祭スペシャルプログラム (A～E)”として、8月31日までの期間上映します。今年のSSFF&ASIAは、世界104カ国から4200以上の応募があり、その中から選りすぐりの100作品を上映しました。

SSFF & ASIA 2011 審査員は、オフィシャルコンペティションでは犬童一心(映画監督・CMディレクター)、小澤征悦(俳優)、菊川怜(女優)、鳥越俊太郎(ジャーナリスト)、ジョージナ・ポーブ(プロデューサー)の5名、ストップ！温暖化部門では石原良純(俳優・気象予報士)、江守正多(気象学者)、黒谷友香(女優)の3名がつとめました。

オフィシャルコンペティション審査員総評

この作品に出会えて良かった！と思わず唸った作品や、この監督は将来きっとすごい映画を撮るだろうと思わせる才能を、審査を通して発見しました。その中でも特に高い評価が集まったのは、表現や手法が新鮮だったり、他の誰も持っていない魅力を持っている作品でした。

現在上映中の映画祭スペシャルプログラムAでは、米国アカデミー賞短編部門ノミネート候補となるグランプリ作品の『ヘルムートの誕生日』や、SSFF & ASIA 2011にて話題賞を受賞した石井竜也監督による『笹舟 -sasabune-』などを上映中。スペシャルプログラムBの『シロクマ / SiRoKuMa』は、ストップ！温暖化部門優秀賞(環境大臣賞)、J-WAVEアワード、オーディエンスアワードとトリプル受賞を獲得。7月16日以降上映開始のプログラムでは、ベストアクター、ベストアクトレスアワード作品を上映するなど、ブリリア ショートショート シアターでは映画祭終了後も世界中から集まった最新のショートフィルムを紹介していきます。

【SSFF&ASIA2011オフィシャルコンペティション審査員】



【公式審査員】犬童一心(映画監督・CMディレクター)、小澤征悦(俳優)、菊川怜(女優)、鳥越俊太郎(ジャーナリスト)、ジョージナ・ポーブ(プロデューサー)

【6月26日明治神宮会館にて行われた授賞式の模様】



ストップ！温暖化部門審査員と『シロクマ』でトリプル受賞の片岡翔監督(中央)、監督左は環境省から鈴木正規地球環境局長



公式審査員と『ヘルムートの誕生日』でグランプリを獲得したニコラス・シュタイナー監督(中央)

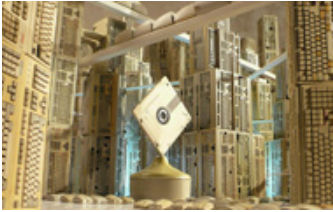
審査員からのコメント: 疑惑、駆引の工作。寄り引き 長短 強弱。映像は口ほどに物を言う。自分の正義とは何か? そんな命題を突きつけられます。



『ケンとカズ/Ken and Kazu』 ジャパン部門
小路紘史/Japan/23:00/Drama/2011

ケンとカズはコカインの運び屋をしながらコカインを横領している。横領が組織の上司の木下にバレてしまいカズが拉致されてしまう。ケンはカズを殺せと木下に命令される。

審査員からのコメント: 映像の奥行きが素晴らしい。人は自ら創り出した科学に滅ぼされるのか、と考えさせる作品。

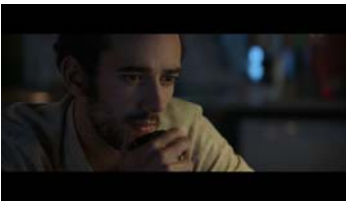


『テクロポリス/TECLÓPOLIS』 ストップ! 温暖化部門
Javier Mrad/アルゼンチン/12:10/アニメーション/2009

古雑誌が風で優しく揺れ動く。浜辺の波のように打ち寄せる敷物、木製テーブルの上をカメラが動き回る。しかし突然、文明という脅威が立ち上がる。それはプラスチック廃棄物に姿を変えて、はるか遠く離れた浜辺の安全さえも脅かす。

☆ベストアクターアワード作品 主演: フランシスコ・タバレス(Francisco Tavares)

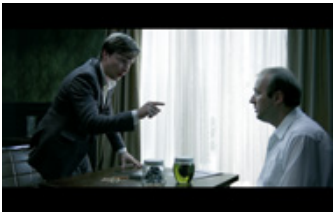
審査員からのコメント: 高い映像の力。事実を語る視点に強い作家性を感じせる、心の繋がりの大切さを教えてくれる作品。



『海の彼方/North Atlantic』 インターナショナル部門
(Bernardo Nascimento/イギリス・ポルトガル/14:58/2010)

アソレス諸島に浮かぶ島に、たった一人で仕事をしている航空管制官がいた。彼は、大西洋沖で迷ってしまった飛行機から緊急信号を受け取る。飛行機のパイロットとやり取りするうち2人の中には友情が芽生えるが...

審査員からのコメント: 優れた脚本、惹きつける芝居、高まる緊張感に心臓を鷲掴みにされる、プロフェッショナリズムを感じさせる作品。



『真実の箱/Interview』 インターナショナル部門
Sebastian Marka/ドイツ/19:10/スリラー/2010

野心に溢れるリポーターが、連続殺人の犯人にその動機を問い詰めていく物語。犯人はリポーターに真相を打ち明けるのか? 手に汗握る緊迫感に包まれる中、それぞれの隠された秘密が暴かれる...

審査員からのコメント: 冒頭の緊張感が圧巻! 「ディレクターが全てを完全にコントロールしている」と思わせる力強い作品。



『トンネル/Tunnel』 アジア インターナショナル部門
Saino Kim/韓国/13:00/ドラマ/2010

ボウリングのレーン。最後のフレーム、11回目のストライク、そして最後の10ピン...

審査員からのコメント: 心理描写が秀逸な、切なく美しい思い出の物語。長編になりうる完成度の高さを持った作品。



☆オーディエンスアワード受賞作品
『街の思い出/City of Memories』 アジア インターナショナル部門

(Xianjian Xue/中国・アメリカ/25:00/ロマンス/2010)
中国人学生ジェイソンと不法滞在者でホームレスのリンが、運命に翻弄される物語。リンが送る過酷な人生に、ジェイソンの温かい心が重なり合い二人は絆を深めていくが、予期せぬ悲惨な事件によって、彼らの人生は一変する。

☆日韓観光振興プロジェクト特別製作作品:鎌倉・藤沢・江の島がロケ地。作品には鶴岡八幡宮や東慶寺、江ノ島のしらす丼の名店“仙水”などが登場する。土地の魅力を伝えるショートフィルム。



『スマイルバス/Smile Bus』旅ショート!プロジェクト
パク・サンジュン/Japan /22:52/ドラマ/2011

ある日ユナ(リュ・ヒョンギョン)は、3年間付き合ったサンホ(パク・コニョン)に突然の別れを告げ日本へ。そして鎌倉や藤沢・江の島を、韓国人観光客に案内する観光ガイドとして働くことに。一方、突然の別れに戸惑ったサンホだが、ユナが忘れられず日本へ向かう。復縁を迫るサンホと揺れるユナの気持ちを、藤沢・江の島や鎌倉にまつわる言い伝えと美しい景色を背景に描いた珠玉のラブストーリー。

☆ベストアクトレスアワード作品 主演:リリー・ナイト(Lily Knight)

審査員からのコメント:優れた脚本力、会話だけで観客を引き込む力が素晴らしい。
ほんの少しの優しい触れ合いで救われることがある。その美しきやさしさが胸に響きました。



『TOUCH/駅のホームで』国際部門
Jen McGowan/アメリカ /13:25 /ドラマ /2009

都会生活へのオード(賛歌)。列車を待つ見知らぬ者同士の2人が、お互いの人生においてかけがえのない結びつきを育んでいく。「孤立」と「コミュニティの必要性」という、都会に共通するテーマに切り込んだ物語。

審査員からのコメント:戦争の記憶が消えた現代に、人間が積み重ねてきた経験の価値を伝え、
世代をつなぐ非常に優れた作品。



『美雪の風鈴/Miyuki's Wind Bell』ジャパ部門 **真野恵里菜、石田卓也 出演!**
落合 賢 /日本 /20:00/ドラマ/2011

両親が旅行に行くため、腹違いの弟二人のお守りを任された美雪は、東京から祖母の住む田舎を訪れる。弟たちは初めての田舎暮らしを楽しむが、美雪はあまりの不便さに不満を持ち、祖母にも弟たちにも冷たく当たる。そんなある日、美雪は村の青年、元気に誘われ、「秘密の場所」へと連れられる。そこで美雪が目にしたのは、第二次世界大戦中に米軍によって落とされた不発弾であった。

2011年7月16日(土)~8月31日(水) 映画祭スペシャルプログラムC・D・E 上映情報

■上映時間

○映画祭スペシャルプログラムC

7月16日(土)~7月31日(日) 10:30~/14:30~/18:30~ 8月1日(月)~8月15日(月) 11:50~/15:50~

○映画祭スペシャルプログラムD

7月16日(土)~7月31日(日) 11:50~/15:50~/19:50~ 8月1日(月)~8月15日(月) 13:10~/17:10~

○映画祭スペシャルプログラムE

8月1日(月)~ 10:30~/14:30~/18:30~ 8月16日(月)~ 11:50~/14:30~/17:10~

※火曜日休館日

※イベント実施により、上映時間が変更になる場合が御座いますので事前にHPでご確認頂くか、シアターへお問合せください(TEL:045-633-2151)

■劇場

ブリリア ショートショート シアター (HP: <http://www.Brillia-SST.jp/>)
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい5丁目3番1 Filmee 2F

■チケット 大人・学生 ¥1000/小人(3歳~中学生) ¥800
シニア(60歳以上) ¥800/ハンディキャップ(付き添いの方1名まで同額) ¥800

■チケット販売 2011年7月9日(土)午前0時より前売り販売開始

■購入方法 鑑賞希望日の1週間前より、シアター窓口、シアターWEB、QRコードより販売
※WEB、QRコードからの購入は、上映の2時間前までとなります



チケット購入専用
QRコード

ショートショート フィルムフェスティバル & アジアについて



米国アカデミー賞公認、日本発アジア最大級の国際短編映画祭。1999年、東京原宿で映像王国ハリウッドに集まったショートフィルムを紹介する映画祭としてスタートして以来、名監督の初期短編映画や、若手映像作家が産み出した作品など、毎年4000本以上にも及ぶ作品が、世界50以上の国や地域からよせられ、のべ14万人を動員するイベントです。これまでに、ロサンゼルス、シンガポール、ミャンマー、などでも開催され、2010年にはマレーシアでも開催。「日本生まれ」の映画祭が海外に展開される「ユニークな映画祭」として注目を集めています。また審査員には、大沢たかお、押井守、奥田瑛二、崔洋一、デーブ・スペクター、武田双雲、竹中直人、土屋アンナ、寺島しのぶ、野口健、堀北真希、村上龍、桃井かおり、山田優など多彩な顔ぶれをお迎えし、様々な視点から審査をいただいています。

2004年には、米国アカデミー賞の公認映画祭として認定を受け、本映画祭でグランプリを獲得した作品は、次年度米国アカデミー賞のノミネート対象となります。また同年10月、石原慎太郎都知事の提案の下、「東京都を拠点とするアジア映像文化のショーケースを設ける映画祭」として「ショートショート フィルムフェスティバル アジア」を「ショートショート フィルムフェスティバル (SSFF)」の兄弟映画祭として開催。日本で初めての、アジア諸国のショートフィルムを紹介する映画祭としてスタートしました。現在は、「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」として、毎年同時開催を行っています。



また、映画祭開催初年度から毎年ジョージ・ルーカス監督に応援いただくなど、世界中の映画人から愛される映画祭として成長を遂げてきました。本映画祭参加監督には、今や米国アカデミー賞ノミネート監督として名高いジェイソン・ライトマン監督や、「カンフーパンダ」などのヒット作を生み出すマーク・オズボーン監督、シンガポールの新鋭、「881 歌え！ パパイヤ」のロイストン・タン監督などがおり、今や第一線で活躍する監督も続々と輩出しています。



プリリア ショートショート シアターとは



当シアターは、日本初の映画祭と連動したショートフィルム専門の映画館として、2008年2月に、横浜・みなとみらいに誕生。1プログラムは60分で、4~6本のショートフィルムで構成されています。通常のプログラムでは、世界中から選りすぐりのショートフィルムを集めており、米国アカデミー賞公認の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」で上映されたコンテンツも上映。国際映像文化事業としても注目を集める、ショートフィルムの活性化、世界にも通じる高いレベルの映像作品を皆様と共有したいという考えのもと、若手クリエイターへの支援も含め、横浜・みなとみらいからショートフィルムの魅力を発信しています。

■ 取材・画像・映像素材提供・各種お問い合わせ先 ■
株式会社ビジュアルボイス
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-12-8 SSUビル4F
【オフィス】TEL: 03-5474-8844 FAX: 03-5474-8202
【シアター】TEL: 045-633-2151 FAX: 045-633-2156
E-mail: press@shortshorts.org
担当: 菊地・高橋